

**2021-2025**

# 第2次和田岡地区まちづくり計画

住民が安全で安心な暮らしと強い絆を感じる「和田岡」

**和 田 岡**



古墳時代の遺跡も多く歴史ロマン溢れるまち「和田岡」

2021年 4月

和田岡地区まちづくり協議会

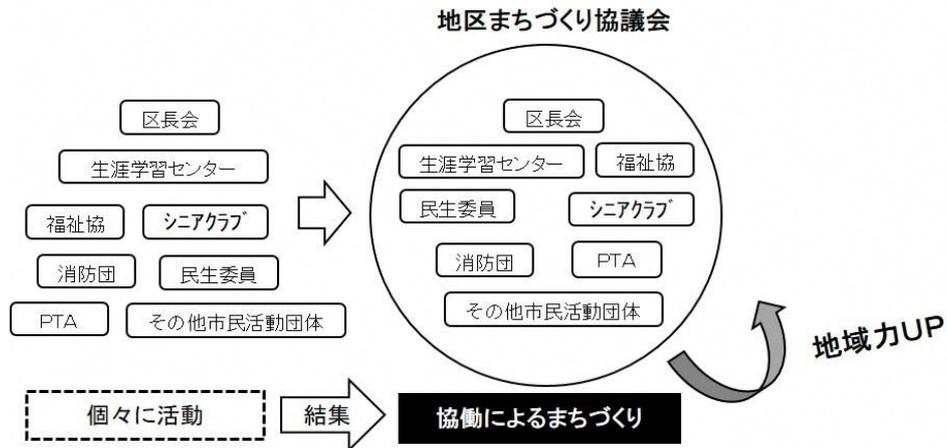
# 目次

<b>1. はじめに（おさらい）</b>	・・・ 1
(1) 地区まちづくり協議会とは	
(2) 地区まちづくり計画の策定	
(3) 第1次和田岡地区まちづくり計画の策定 （平成28年度から令和2年度までの5年間）	
<b>2. もっと知ろうよ「和田岡！」</b>	・・・ 1
(1) 和田岡村の誕生	
(2) 和田岡小学校の開校	
(3) 和田岡地区の概要	
(4) 地区の主な魅力と課題	
<b>2. 第1次和田岡地区まちづくり計画の振り返り</b>	・・・ 2
(1) 和田岡地区まちづくり計画の住民アンケート結果	
(2) 分野別事業の柱	
(3) 持続可能な改善の実現に向けて（住民の関心度が高い事業）	
<b>3. 第2次和田岡地区まちづくり計画の内容</b>	・・・ 6
（令和3年度から令和7年度までの5年間）	
(1) 基本方針	
(2) 現状の把握（課題の見える化）	
(3) 地域の将来像	
(4) 分野別事業（5本の柱）のビジョン・目標・主な具体的活動・課題	
(5) 実施計画一覧表	
<b>【まとめ】</b>	・・・ 10
<b>トピックス</b>	
■ タイムスリップ和田岡	・・・ 11
■ ディスカバー和田岡	・・・ 12
<b>付記</b>	
■ 第2次和田岡地区まちづくり計画策定委員名簿	・・・ 13

# 1. はじめに(おさらい)

## (1) 地区まちづくり協議会とは

地域が主体となって地域力を結集し、絆づくりのために、地域の将来像について夢や地域にとって大切なことを語り合い、実施していく場となります。地域の住民をはじめ自治会、地域生涯学習(地区)センター、地区福祉協議会、シニアクラブ、消防団、子ども会、PTAなどの地域内のさまざまな団体が参画し連携がより強まり地域力が高まることで、地域が「希望の見えるまち、誰もが住みたくなるまち」となるための取り組みが期待されます。



## (2) 地区まちづくり計画の策定

地区まちづくり協議会は、地区まちづくり計画(地区まちづくり協議会の活動区域内の市民等が自然、文化、歴史等の地域資源を活用しつつ、自らが取り組むべき活動の方針、内容等を定めた計画をいう)を策定しなければならない。

## (3) 第1次和田岡地区まちづくり計画の策定(平成28年度から令和2年度までの5年間)

少子高齢化など社会環境が大きく変化する中、この地域を次世代に引き継ぎ、さらに住み良い地域を創造していくために、私たち地域住民自らで、あるべき地域の将来像を描き、その将来像である、「住民が安全で安心な暮らしと強い絆を感じる和田岡」の実現に向かって、自らが取り組むべき活動の方針、内容等を定めた計画を策定する。

# 2. もっと知ろうよ「和田岡！」

## (1) 和田岡村の誕生

・1889年(明治22年)4月1日 町村制の施行により各和村、高田村、吉岡村が合併して佐野郡(さやぐん)和田岡村が誕生。(大日本帝国憲法公布)

## (2) 和田岡小学校の開校

・1889年(明治22年)9月1日「村立和田岡尋常小学校」開校。  
・1894年(明治27年)9月1日「和田岡尋常小学校」現在地へ移転。(日清戦争が始まる)



和田岡尋常小学校

明治27年(1894年)



初代校長: 荻野覚太郎



明治43年(1910年)

### (3) 和田岡地区の概要

和田岡地区は、掛川市の最も西部に位置し袋井市と接する農村地域で、地区のほぼ中央を、2級河川原野谷川が流れています。地区は、お茶、米、バラ、苺、蓮根など多くの農産物を産出しています。農業割合(専業+兼業)は、9.2%で掛川市33地区の平均4.1%を大きく上回っています。また、由緒ある神社仏閣・代官屋敷など貴重な歴史的建造物を多く有する地域で、さらに古墳時代(1500年前)の古墳群・遺跡も多く点在し、歴史ロマン溢れる魅力あるまちです。

### (4) 地区の主な魅力と課題

#### ア. 魅力

- ①山・川・田園など自然環境に恵まれている。
- ②地区内の農産物が豊富である。
- ③由緒ある神社仏閣などの名所巡りができる。
- ④古墳・遺跡があり歴史ロマンが溢れている。
- ⑤地域住民が穏和であり絆が強い。



#### イ. 課題

- ①少子高齢化の傾向となっている。
- ②耕作放棄地が多くなった。(農業問題)
- ③地区内の交通量が多くなった。
- ④県道掛川天竜線とのアクセスが不便。
- ⑤河川を初めとした防災対策。
- ⑥農業振興地域整備計画。

## 2. 第1次和田岡地区まちづくり計画の振返り(5年計画期間の中間点)

### (1) 和田岡地区まちづくり計画の住民アンケート結果(平成30年10月)

#### ①協働によるまちづくり協議会について(認知)

- Q1. 協働によるまちづくりの推進を知っていますか  
 Q2. まちづくり推進活動に関心はありますか  
 Q3. まちづくり推進活動の組織について  
 Q4. まちづくり推進活動に参加しますか



Q1.知っている・少し知っている	44.4%
Q2.多いにある・ある	53.3%
Q3.大変良い・良い	69.5%
Q4.進んで参加・依頼があれば	41.7%

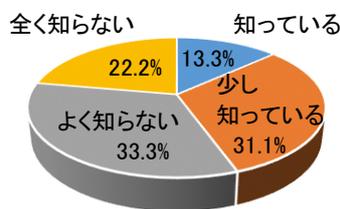


図-1. Q1

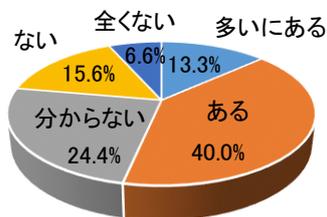


図-2. Q2

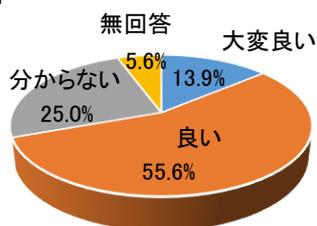


図-3. Q3

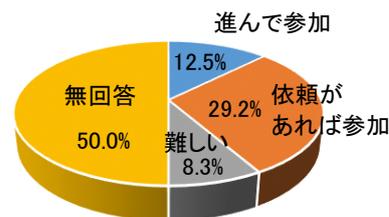


図-4. Q4

**協働によるまちづくり協議会についての認知度はおよそ50% ⇒ さらなるアピールが必要**

(2) 分野別事業の柱

① アンケートによる「住民の声」の層別

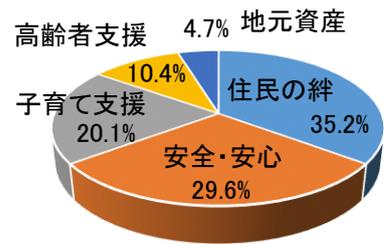
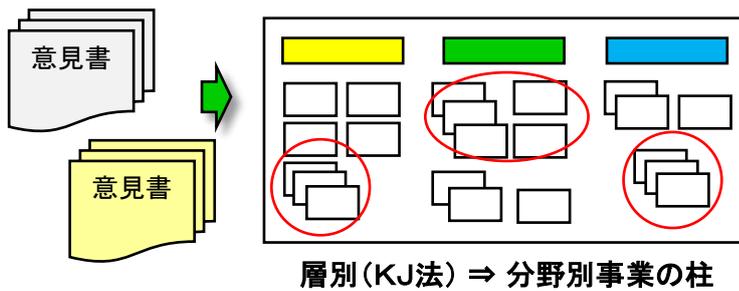
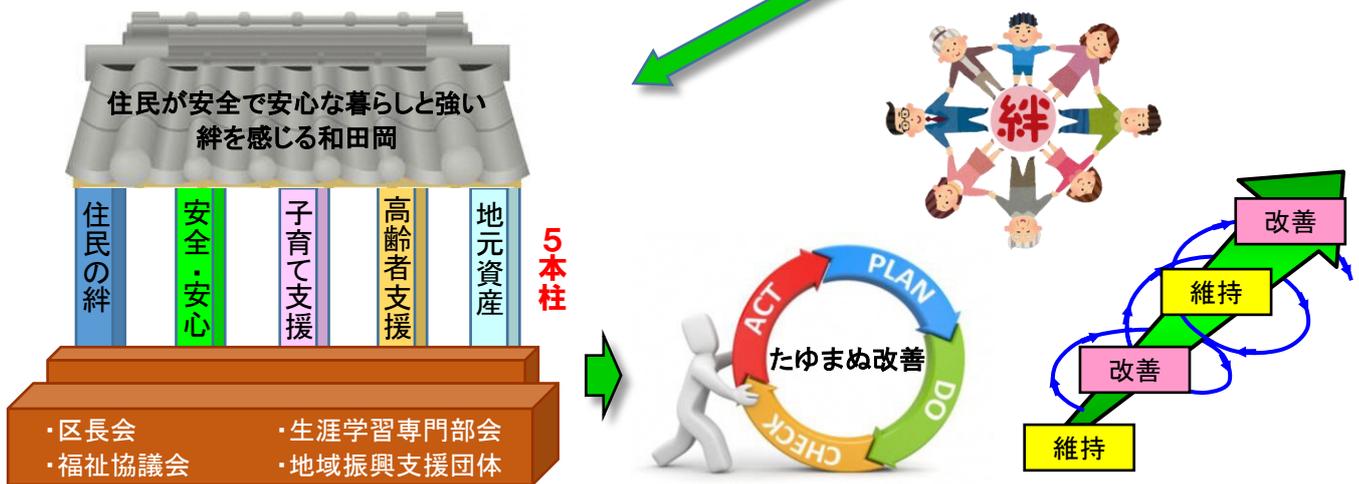


図-5. 事業の柱の比率

② 分野別事業5本柱の設定



③ 分野別事業の系統図

将来像	5本柱	ビジョン	目標	主な具体的活動
住民が安全で安心な暮らしと強い絆を感じる和田岡	住民の絆	安全で安心が得られ 地区住民のふれあい のあるまちづくり	ふれあいの場の創出による 地区住民の強い絆とつながり を感じるまちづくり	・球技大会 ・納涼祭 ・体育祭 ・フェスティバル ・歩け歩け大会 ・女性学級
	安全・安心		交通安全・防犯活動による 安全・安心なまちづくり	・交通安全運動の啓蒙活動 ・ピカッと作戦 ・防犯パトロール
			災害時、火災時における 地域ぐるみの防災活動	・自治区自主防災訓練 ・広域避難所運営訓練
			地域の自然環境保全活動	・地域内の水質検査
	子育て支援	子育てが安心して できるまちづくり	地域で見守り、地域で育む 笑顔あふれる子育て支援 の輪を広げる	・親子ふれあいの部屋 ・学童保育 ・放課後子ども教室 ・学校運営協議会 ・子ども育成支援協議会
高齢者支援	慣れ親しんだ地域で 健康で生きがいをも って生活できる まちづくり	高齢者が生きがいをも って集う居場所のあるまちづくり	・和会(地区・自治区) ・敬老会 ・ねんりんクラブ ・地域出前講座 ・高齢者見守り	
地元資産	歴史ある地元資産を 守り後世へ継承する	地元資産の探索スポットの 情報発信と環境保全の整備	・古墳整備委員会 ・親水公園管理委員会	

(3) 継続的な改善策の実施について(住民の関心度が高い事業に着目)

① 目的

新しい時代(平成 → 令和)を迎え、まちづくり協議会活動の更なるスパイラルUpを目的として住民ニーズに立ち返り前例・伝統に捉われない(ブレークスルー)広い視野を持って環境変化に対応した事業を積極的に展開し次世代に無理なく継承していく。

② 留意点

- ※1. 事業内容は住民ニーズに沿い、さらに世代間ギャップをなくす。(三世代交流の拡大)
- ※2. スタッフ(役員・委員)の負担軽減を十分考慮する。
- ※3. 次世代につながるフレキシブル(順応性のある)な考え方で進める。⇒ 後継者の育成
  - 気づき 考え 一歩ふみ出そう(和田岡小学校の教育重点目標)を実践する。
  - 区長会・専門部会・福祉協の「チーム和田岡」でヒヤリングし継続的な改善策に着手した。

③ 問題点・改善策・実施結果(令和元年実施)

NO	行事名	問題点	改善策	実施結果	評価
1	球技大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応援者も少なく盛り上がり欠けている</li> <li>・シニア競技はシニアクラブに任せっきり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間ギャップを超えた男女混成ソフトバレーに特化する</li> <li>・シニアクラブ主体の仲間活動とする</li> <li>■各競技に正副区長が常駐する</li> </ul>	参加者増	○
2	体育祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式及び閉会式に人が少く盛り上がり欠ける</li> <li>・弁当をもらってそのまま帰宅</li> <li>・シニアが出場しやすい種目がない</li> <li>・昼食後は選手が激減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮(競技は午前中で終了)</li> <li>※午後からの自由時間の有効活用</li> <li>・弁当廃止(慣例廃止)</li> <li>・シニアに特化した競技を採用</li> <li>・閉会式まで参加した人全員に特別参加賞を配布(応援者含む)</li> <li>■時間短縮と特別参加賞の配布は世代を超えて大絶賛された</li> </ul>	参加者激増	◎
3	歩け歩け大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の大半は役員関係者</li> <li>・参加者の世代間にギャップあり</li> <li>・コースにワクワク感がない(マンネリコース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧のチラシを工夫する(イラスト)</li> <li>・シニアが参加し易い環境を作る</li> <li>・和田岡の探索スポット巡りを考案</li> <li>■ディスカバー和田岡で和田岡の名所を再発見!!</li> </ul>	参加者増	○
4	納涼祭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踊りを踊る人が少ない</li> <li>・まち協役員メンバーが踊りの輪に入っていない</li> <li>・夜店が少ない</li> <li>・子どもたちに夏の風物詩を味合わせたい(昭和時代の風物詩)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち協スタッフの踊りは必須</li> <li>・正副区長が踊りを積極的に覚え率先垂範で踊りの輪に入る</li> <li>・夜店を目玉にして人寄せする</li> <li>・子供たちに夏の思い出として夏の風物詩の花火を実体験させる</li> <li>■ピンクベストを着た正副区長の踊りが住民から大好評(率先垂範)</li> <li>■子ども花火は夏の風物詩にマッチング(消防団の支援に感謝)</li> </ul>	参加者増	○
5	敬老会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に式典から余興までの時間が長い(身体の負担大)</li> <li>・会場(体育館)内が暑い(熱中症の危険あり)</li> <li>・お祝いする側の人が少ない(会場内は閑散としている)</li> <li>■余興の内容・雰囲気はフェスティバルと同じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間短縮及び自由に席を立てる環境作りをする</li> <li>・開催は残暑の厳しい熱中症の季節を避け清々しい時期に変更</li> <li>・三世代交流の拡大を実現させる(子ども・現役世代の参加を促す)</li> <li>■多くの住民が敬老会に参加しご長寿をお祝いする行事とする</li> </ul>	-	-

NO	行事名	問題点	改善策	参加者	評価
6	フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場内の資機材手配、搬入設営、撤去、返却まで非常に多くの工数が必要</li> <li>・余興の仮設舞台の設営が困難(人手不足)</li> <li>・余興の演芸者募集が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重量物のパネルの借用は止めて作品の展示方法を工夫する(自前で手作り感を演出する)</li> <li>・舞台を廃止し簡素化する</li> <li>・敬老会の演芸者と棲み分けする</li> <li>■文化部委員の負担を軽減する</li> </ul>	-	-
7	敬老会 & フェスティバル	<p style="text-align: center;"><b>ブレイクスルーで大胆発想: 敬老会とフェスティバルを統合</b></p> <p><b>【改善のポイント】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ご敬老者は和田岡住民の多くの方々から祝福を受ける</li> <li>②残暑を避ける(熱中症の回避: 9月 → 11月)</li> <li>③ご敬老者の方々に和田岡区民の芸術作品を見ていただく</li> <li>④敬老会の時間短縮(ご敬老者の身体の負担軽減)</li> <li>⑤敬老会の式典終了後は中締め(自由に展示作品を鑑賞)</li> <li>⑥余興のオープニングの試み(生ピアノ演奏と掛川物語PVのコラボ)</li> <li>⑦余興の演芸出し物の充実(時間短縮)</li> <li>⑧朝市の充実(ご敬老者の方々に地産地消を堪能していただく)</li> <li>⑨子どもたちの出し物(コーラス)を重視する</li> <li>⑩大抽選会を開催(敬老会では初の試み)</li> </ol> <p><b>【福祉協と文化部の協働開催による効果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①参加者激増</li> <li>②関係スタッフの負担激減</li> <li>③経費の大幅削減</li> </ol>		参加者 激増	◎



令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全ての行事を中止しました。令和3年度に持続可能な改善の効果を検証し和田岡地区の強い絆づくりと三世代交流の拡大に努めます。

### 3. 第2次和田岡地区まちづくり計画の内容（令和3年度から令和7年度までの5年間）

#### (1) 基本方針

和田岡地域の将来像である「住民が安全で安心な暮らしと強い絆を感じる和田岡」の実現に向け、和田岡地区まちづくり協議会組織が一体となり、目標の5本の柱を着実に達成し地域住民一人ひとりが、和田岡地区の魅力を感じ、郷土愛を育むまちづくりにしていきます。

#### (2) 現状の把握（課題の見える化）

(世帯)

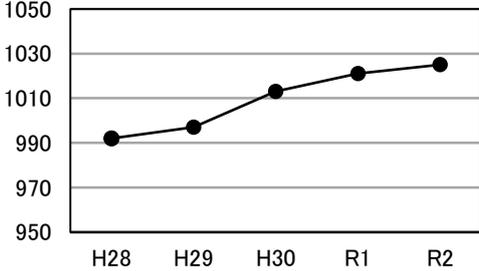


図-6. 世帯数の推移

(人)

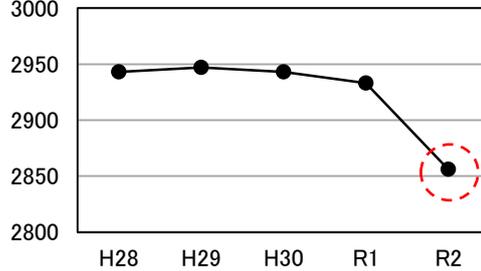


図-7. 人口の推移

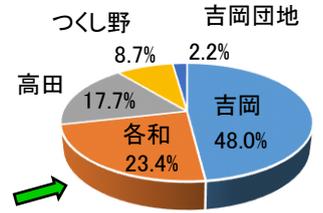


図-8. 自治区人口比率

(人)

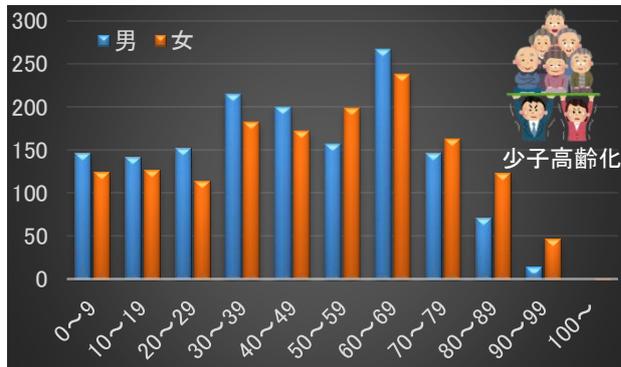


図-9. 年代別人口の比較

- (1) 世帯数は緩やかな増加傾向
- (2) 人口は令和2年に減少傾向
- (3) 少子高齢化が現実的
- (4) 60歳代が最も多い

#### 【社会現象】

- (1) 70歳まで働く時代が目前に迫った
- (2) 働く女性が多くなった

**役員・委員の担い手が不足**

#### (3) 地域の将来像

住民が安全で安心な暮らしと強い絆を感じる和田岡

#### (4) 分野別事業(5本の柱)のビジョン・目標・主な具体的活動・課題

#### 住民の絆

##### ■ ビジョン

安全で安心が得られる地区住民のふれあいのあるまちづくり

##### ■ 目標

ふれあいの場の創出による地区住民の強い絆とつながりを感じるまちづくり

##### ■ 主な具体的活動

・球技大会 ・納涼祭 ・体育祭 ・女性学級  
・敬老会&フェスティバル ・歩け歩け大会

##### ■ 課題

誰もが参加しやすい地区行事の環境作り（三世代交流の拡大）と役員・委員の負担軽減に係る、継続的な改善（次世代への継承）

## 安全・安心

### ■ ビジョン

安全で安心が得られる地区住民のふれあいのあるまちづくり

### ■ 目標

- ・交通安全、防犯活動による安全なまちづくり
- ・災害時、火災時における地域ぐるみの災害・防災活動

### ■ 主な具体的活動

- ・交通安全運動の啓蒙活動 ・ピカッと作戦
- ・防犯パトロール ・広域避難所運営訓練

### ■ 課題

- ・交通事故「0」達成に向けた住民一人ひとりの意識改革と徹底したKY活動
- ・通学路における危険個所の是正活動
- ・コロナウイルス感染症対応の防災訓練

## 子育て支援

### ■ ビジョン

子育てが安心できるまちづくり

### ■ 目標

- ・地域で見守り、地域で育む笑顔あふれる子育て支援（子育て支援の輪を広げる）
- ・保護者が安心して就労できるまちづくり

### ■ 主な具体的活動

- ・親子ふれあいの部屋 ・学童保育
- ・放課後子ども教室 ・学校運営協議会

### ■ 課題

- ・役員、委員の担い手不足
- ・ボランティア員の減少（保護者の就労増）

**ボランティアデビュー者の発掘**

## 高齢者支援

### ■ ビジョン

慣れ親しんだ地域で健康で生きがいをもって生活できるまちづくり

### ■ 目標

- ・高齢者が生きがいをもって集う居場所のあるまちづくり（高齢社会対策）
- ・一人暮らしの高齢者を孤独にさせない地域ぐるみの声掛け運動

### ■ 主な具体的活動

- ・和会（地区・自治区）・敬老会&フェスティバル
- ・ねんりんクラブ ・地域出前講座 ・見守り

### ■ 課題

- ・集いの居場所（ふくし館・学習センター等）へ行くまでの交通手段
- ・地域で見守るネットワークの推進拡大（個人情報取り扱い）

## 地元資産

### ■ ビジョン

歴史ある地元資産を守り後世へ魅力ある和田岡のまちを継承する

### ■ 目標

- ・地元資産の探索スポットの情報発信と環境保全及び整備

### ■ 主な具体的活動

- ・古墳整備委員会 ・古墳を愛する会
- ・親水公園管理委員会

### ■ 課題

- ・高齢化による推進委員の減少
- ・草刈り等の負荷低減策として人海戦術の脱却から機械化への移行（高齢者への対応及び次世代への継承）

(5) 実施計画一覧表

**区分**  
 継続：従来からの活動  
 充実：R1・R2の改善活動  
 新規：R3からの活動

柱	NO	具体的な活動 (事業名)	事業概要	区分	役割分担	スケジュール				
						R3	R4	R5	R6	R7
住民の絆	1	球技大会	・スポーツを通して世代間Gapを超えた熱い絆を醸成する ・シニア層の親睦と健康増進を図る	充実	体育部	→				
	2	体育祭	・体育祭を通して住民の健康の保持増進と地区内の団結力・連帯感をさらに深める	充実	体育部	→				
	3	歩け歩け大会	・「ディスカバー和田岡」と称し地元探索スポットの名所を巡り和田岡再発見と郷土愛を育む	充実	体育部	→				
	4	納涼祭	・和田岡地域伝統文化を通して世代間交流を深め地域文化を未来へ継承する(次世代へ継承)(盆踊り・夜店・花火)	充実	文化部	→				
	5	敬老会 & フェスティバル	・「敬老会」と「フェスティバル」を統合し多くの地域住民が長寿をお祝いする会とする ・ご敬老者の仲間づくり、生きがいづくり、居場所づくりを推進する	充実	高齢者支援部 文化部	→				
	6	祭典	・青年が主役となり地域伝統文化を継承し自治区間の交流と絆を深め地域の発展に寄与する ・子どもたちに地域伝統文化を学ばせ、伝える役割を担う	継続	自治区祭青年	→				
	7	女性学級	・自己啓発(手芸教室・生け花講座)によるスキルアップと力量の向上 ・学級生同士の相互交流を深め人づくりの輪を広げる(生涯学習)	継続	女性学級	→				
	8	広報誌発行	・まち協の広報誌として地区住民へタイムリーに効果的に情報を発信する(まち協のPR活動)	継続	広報研修部	→				
	9	視察研修会	・まち協役員・委員相互の緊密な連携・団結を目的とした視察研修会を開催し地区外の歴史・文化・福祉等を直接現地で触れることによりさらなる自己研鑽に努める	継続	広報研修部	→				
	10	地域振興事業	・地域振興支援部として各種団体の特性を最大限活かし住民が主体となるまちづくりを推進し和田岡地域のさらなる発展に寄与する (部農会・食推協・消防団等) ■ 部農会・食推協・消防団 スポーツ少年団(野球・バレー) 和田岡シニアクラブ等	継続	各種団体	→				

柱	NO	具体的な活動 (事業名)	事業概要	区分	役割分担	スケジュール				
						R3	R4	R5	R6	R7
安全・安心	1	交通安全週間の街頭指導 (ピカッと作戦含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会と一体となって交通安全の啓蒙活動を推進する</li> <li>・地域住民自ら参加し安全で安心な人に優しい地域を構築する</li> </ul>	継続	交通安全部	→				
	2	交通整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち協主催行事活動時の交通整理と交通指導を担い行事の安全に貢献する</li> </ul>	継続	交通安全部	→				
	3	交通安全街頭指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日及び15日における通学路の交通安全街頭指導</li> <li>・地域の安全・安心は「地域で実践地域で守る」</li> </ul>	継続	交通安全部	→				
	4	防犯パトロール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区長会が中心となり通学路を重点的にパトロールし犯罪の未然防止と危険個所の点検・是正を実施する</li> </ul>	充実	生活環境安全部	→				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・OB区長が防犯パトロールのボランティアとして参加し地域の防犯活動の輪を広げる</li> <li>・防犯パトロールのステッカーを付与する</li> </ul>	新規	OB区長	→				
	5	自治区自主防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災会による地域防災訓練を通じて住民の防災意識を高める</li> </ul>	継続	自治区	→				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末活用による情報管理の一元化</li> </ul>	研究	自治区	→				
6	広域避難所運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和田岡小広域避難所運営マニュアルに沿った組織的な広域避難所運営訓練の実施</li> </ul>	継続	和田岡地区	→					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた広域避難所の開設</li> </ul>	研究	和田岡地区	→					
7	水質検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の水質検査による自然環境・生活環境への意識の高揚</li> </ul>	継続	環境保全部	→					
7	原野谷川現地視察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原野谷川に関する改良・修繕の要望書の提出と現地視察(原野谷川治水対策)</li> </ul>	継続	区長会	→					
子育て支援	1	親子ふれあいの部屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを地域全体で応援する</li> <li>・子育て中の親子が安心できる居場所を提供する</li> </ul>	継続	子育て支援部	→				
	2	学童保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で育て地域で見守ることを理念とし保護者が安心して就労できる環境を整える</li> </ul>	継続	学童保育所	→				
	3	放課後子ども教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくり</li> <li>・地域の方の協力・参画を得て地域住民との交流の機会を提供する(勉強・スポーツ・文化活動等)</li> </ul>	継続	放課後子ども教室	→				

柱	NO	具体的な活動 (事業名)	事業概要	区分	役割分担	スケジュール				
						R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援	4	学校運営協議会 (和田岡小学校)	・地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進する	継続	和田岡小学校	→				
			・6年生の思い出作りとして地域の人が「和田岡今昔」を講話し郷土愛に溢れる子どもを育む場を作る	新規	地域	→				
			・2年生の社会科教育の一環としてまちづくり協議会の役割を伝える ・郷土愛「大好き 和田岡」	新規	地域	→				
5	子ども育成支援協議会 (桜が丘中学校区)	・学校・家庭・地域が思いを一つにして地域の子供を育てる	継続	支援協議会	→					
高齢者支援	1	和会	・高齢者がいきいき暮らすためのコミュニケーションとふれあいのある居場所作り ・地区と自治区の双方で開催	充実	高齢者支援部	→				
	2	敬老会 & フェスティバル (住民の絆NO5と同じ)	・「敬老会」と「フェスティバル」を統合し多くの地域住民が長寿をお祝いする会とする ・ご敬老者の仲間づくり、生きがいづくり、居場所づくりを推進する	充実	高齢者支援部 文化部	→				
	3	ねんりんクラブ	・高齢者のいきいき仲間活動	継続	高齢者支援部	→				
	4	地域出前講座	・豊かな地域生活を過ごすための知識・情報を共有する場づくり	充実	福祉事業部					
	5	高齢者見守り	・ひとり暮らしの人が孤立せず安心して生活できる地域環境を創る ・無理のない自然体での声掛け、見守り活動の輪を地域へ広める	充実	生活環境安全部	→				
地元資産	1	古墳整備委員会	・国指定史跡和田岡古墳群の保存管理計画・整備計画に基づいた事業の推進	継続	整備委員会	→				
	2	古墳を愛する会	・貴重な古墳が共存する環境を地域の誇りとして「和田岡の宝」を守り育てる仲間活動	新規	地元の有志	発足	活動			
	3	親水公園管理委員会	・地域住民の憩いの広場として原野谷川の水に親しみ自然環境を地域住民主体で守る活動	継続	管理委員会	→				



### 【まとめ】

和田岡地域の将来像「住民が安全で安心な暮らしと強い絆を感じる和田岡」を具現化するために、和田岡地区まちづくり協議会組織が一体となり、地域課題の解決に向け愚直に果敢にチャレンジし、豊かで美しい和田岡地域を次世代に手渡すことを理念とし定期的に和田岡地区まちづくり計画の進捗状況及び実施の効果を評価し継続的な改善を「チーム和田岡」で確実に実行していきます。



# タイムスリップ和田岡



和田岡地域の皆さんの思い出の懐かしい写真でした

# ディスカバー和田岡

## 探索スポット



和田岡親水公園



蓮華の郷



田園・農園



八幡神社(各和)



加茂神社(高田)



八王子神社(吉岡)



鞍淵山 春林院



大昌山 永源寺



代官屋敷 長谷川邸

古墳時代の遺跡も多く歴史  
ロマン溢れるまち「和田岡」



春林院古墳



吉岡大塚古墳



行人塚古墳



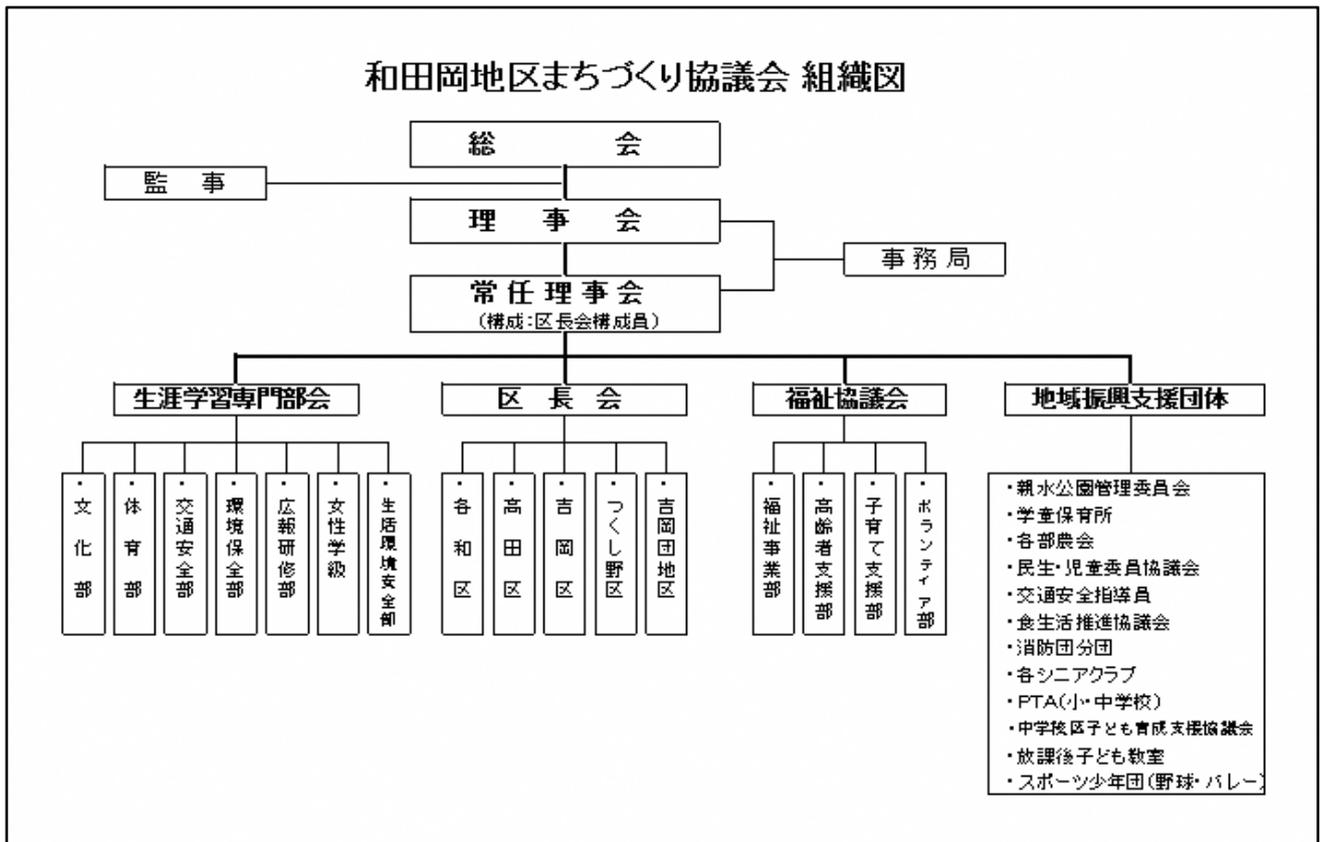
瓢塚古墳



各和金塚古墳

付記・第2次和田岡地区まちづくり計画策定委員名簿(敬称略)

	役職	氏名	自治区
区長会	区長	渡邊 政和	つくし野
		鈴木 勝好	各 和
		宮崎 貢	高 田
		鈴木 智明	吉 岡
		伊東 守弘	吉岡団地
	副区長	山田 康弘	つくし野
		鈴木 利之	各 和
		鈴木 久幸	高 田
		山崎 寿久	吉 岡
		大庭 進	吉 岡
まち協事務局	事務局長	長谷川 正男	吉 岡
	事務長	大場 鉦一	吉 岡
	事務(兼務福祉協担当)	岡山 正久	各 和
	事務員	石川 万里子	吉 岡





**古墳のある学校 掛川市立和田岡小学校**

**「こあくん」誕生**

**住民が安全で安心な暮らしと強い絆を感じる「和田岡」**

## **和田岡地区まちづくり協議会**

〒436-0115 掛川市吉岡 271-5 (和田岡地域生涯学習センター内)  
電話&Fax 0537-26-0475 E-mail : wadaoka@grace.ocn.ne.jp